

おやごころ

第86号
平成17年3月1日発行
山口県PTA連合会
〒753-0072
山口市大手町2-18
教育会館内
☎(083)925-6778
http://www.yamaguchipta.jp/
yamaguchipta@mx51.tiki.ne.jp

伝統芸能 草太鼓



昨年9月体育祭より



「(頭と体を)動かせる運動」



小串の春は山あがりから

豊浦町立小串小学校



「走ろう運動」

小串では古くから山あがりという行事があり、豊浦町史にも記述されています。四月下旬から五月上旬には、校章のデザインにちなんで「山あがり」の自然記念物「エヒメアヤメ」の別名「誰故草」(タレユエソウ)が咲きます。今年も百五十八年、三つの誇りと一つの目標課題があります。

上料理の類が盛り込まれて、四月下旬から五月上旬には、校章のデザインにちなんで「山あがり」の自然記念物「エヒメアヤメ」の別名「誰故草」(タレユエソウ)が咲きます。今年も百五十八年、三つの誇りと一つの目標課題があります。

アハハ運動で活気ある学校に温かいふれあいのできる学校。目標課題は、アハハ運動でふれあいを育む。活気みなぎる小串小。アハハ運動ハたらかせる運動。祭りの集い、交通安全運動、マスコット制作、学習発表会、昔の遊び交流会、タレユエソウ制作、折紙、竹とんぼ、お手玉等の昔の子どもらが手作りで工夫し、遊んでいくことに、今の子どもたちがチャレンジしています。最後には、世代を越え、一緒に作りながら、楽しく遊ぶ学習は、地域と学校をなく、まさに交流学習です。

小串小には桜、藤、楠の木があり、代々受け継がれてきました。心やさしく美しく、しなやかに伸び伸びと、強くたくましく、種類の校樹は、百年の歳月を経た今も、生き生きと若葉を見せてくれています。

518校のきらら

今、輝いているわたしたちの学校



「ボランティア活動(保育園訪問)」

町が合併し、新しく周防大島町が誕生しました。東和中学は、この周防大島町の東部に位置し、海に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。全校生徒七十三名と少人数ですが、いろいろなことに意欲的にチャレンジしています。

本校では平成十一年から豊かな自然環境の中で、人ひとりの夢を実現する学校づくりをコンセプトとして、安下庄高等学校、安下庄中学校、日良居中学校と連携し、東和地域連携型中高一貫教育を行っています。基礎学力の充実や、体験的な学習を取り組んでいます。例えば、体験的な学習を取り組むとして、中学生が主体的な学習に取り組むの一手伝いをしていきます。この取り組みは、生徒の自主性を伸ばすこと、地域の方への感謝の気持ちを育てること、ボランティア活動などを通して、地域に貢献すること、自分たちの生活している地域を、自分たちの生活する場所として、自分たちの手で育てていくこと、文化祭など多くの場面で行う行事を通して、地域と学校をなく、まさに交流学習です。



「みかん収穫作業」

中高一貫教育 秋吉台火道切り



昨年11月

秋芳町立秋芳南中学校

平成16年度の活動の軌跡

山口県PTA連合会 会長 松井 繁之

県Pには父親母親・広報・教育問題・健全育成・総務の5つの委員会と特別(委)があります。

今年、各(委)が奮闘した年でした。

父親母親(委)では山口県家庭教育学会との連携により「子育て支援のためのアンケート調査」と研修大会「人間になれない子どもたち」の講演会の実施。広報(委)では子どもたちの「心の居場所」調査で4000枚におよぶ調査結果を掲載。また、総務(委)では災害時の活動助成規約の検討。教育問題(委)では県教委との教育懇談会。健全育成(委)では学校の安全調査。特別(委)では合併後の新組織の協議などです。

これらの成果は必ず今後の県P活動の指針となることと思います。最後に萩の皆様には立派な研修大会をしていたいただき感謝いたします。

平成17年11月27日(日)
山口県PTA指導者研修大会 **岩国大会**

大会主題 『子どもの笑顔がみえますか』

～まなざしと瞳をつなぐ架け橋～

地域の中で一人ひとりの夢の実現に向けて

周防大島町立東和中学校

山口県PTA連合会「小学生・中学生総合保障制度」

学校週5日制にともなう保障の空白を補う24時間補償

- 親プランは保護者の病気を・・・ ⑤研修奉仕活動中の受託物賠償
- 1 病欠補償 (お子様)
 - 2 傷害補償 (お子様)
 - 3 傷害医療費用補償 (お子様)
 - 4 個人賠償責任補償 (ご家族)
 - 6 携行品補償 (お子様)
 - 7 被害事故補償 (お子様)
 - 8 育英費用補償 (扶養者)
 - 9 特定感染症補償 (お子様)
 - 10 マイホームドクター24
- お問い合わせ先
山口県PTA連合会小学生・中学生総合保障制度係
フリーダイヤル 0120-714-855
(制度引受幹事保険会社) AIU保険会社 広島支店

全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞校

住 作
小学校PTAの部
秋芳町立秋芳南中学校PTA

日P全国協議会会長表彰
周防大島町立東和中学校PTA

飛躍

平成16年度山口県PTA連合会

一年の軌跡

本年度総務委員会では、例年同様書き損じハガキ、未使用テレカの供出事業を実施し各地区P連の財源の一部としています。

また第12回アメリカ体験学習の実施にあたり名称を「実感！体感！アメリ感！」と一目みて他のツアーと区別が出来るようにしました。また経費の削減に努め、昨年までの参加費用に比べ大幅な軽減をはかることができました。

平成16年9月の台風の被害で学校施設が使えないためPTA活動に支障が生じ、その中でPTA活動を行うため出費を強いられた団体に対し災害時等補助制度設定の予定です。

組織の見直しについては、来年度に申し送りしたいと思います。

総務委員会

今年度は、研究指定校7校の決定、県教育委員会との教育懇談会、そして新たに「命の教育」に関して教育問題委員同士の話し合い等、三つの事業を行いました。

県教育委員会との懇談会では、「食育、読書、遊育」に関する内容で各単Pの特色ある活動を報告し、助言を頂いております。

また、「命の教育」に関して、子どもの心の中にかかる変化は多種多様で、その複雑さは表面から把握できないものか、心の教育を実践しながら、なぜ子どもの心に響いていないのか等、考えさせられたところです。

次年度も継続して話し合っていきたいと思います。

教育問題委員会

前年度に引き続き、平成15年3月18日に改正された「山口県青少年健全育成条例」に基づき、有害環境浄化に関連して有害図書類の販売・陳列方法等について現状を把握するために県民生活課青少年室を訪問し、現状の把握に努めました。

また、今年度の事業として県下の全小中学校に依頼して「安全対策事例調査」を行いました。全国で痛ましい事件が発生している中で、単Pとして家庭・学校・地域でどのような取り組みをされているのだろうか、その事例を収集しユニークな活動を紹介することによって新たな活動を模索できる材料となるのではないかと、思いました。実施致しました。80%の回答率を得て、多くの事例が集まりました。その報告書ですべてをご紹介することはできませんでしたが、単Pでの今後の活動の参考にでもなればと期待しています。

健全育成委員会

今年度、「父親母親委員会」の委員長を務めさせて戴き、あっという間に一年が過ぎようとしています。

父親母親代表懇談会を開催し、もう一度家庭を見直そうというテーマで話し合った問題点を山口県家庭教育学会の協力を得て、「子育てに関する調査」と題して、2か月間委員の皆さんと考えて作ったアンケートは、子どもの学校教育や家庭教育、地域での活動にどのような影響をもたらしているのか、大変有意義な調査となりました。アンケートにご協力いただいた各学校の皆様、ありがとうございます。

毎年発行しております活動報告書には、各地区の母親委員会の活動、PTAの特色ある活動も紹介されています。また、研修大会での清川輝基先生の講演「人間になれない子どもたち」も別冊にて配布いたします。会員の皆様方の参考として頂けることと思います。

父親母親委員会

☆広報紙づくり研修会の開催

講師 中国新聞社 産本 力 様
研修会はこれからの広報紙づくりに参考になることと思います。皆様方のすばらしい広報紙に期待を寄せております。今後とも多数の参加、よろしくお願ひします。(地域開催も受け付けています)

☆広報紙「おやごころ」85号(特集号)・86号

「おやごころ」特集号では豊かな心と健やかなからだの育成について取り組んで参りました。この広報紙が皆様方の活動のきっかけづくりの一助になれば幸いです。

☆広報紙コンクールの審査と表彰式の開催

広報紙全国コンクールに2校受賞されました。単Pでの広報紙づくりも毎年レベルアップ、魅力ある広報紙になっています。

広報委員会

委員長 福永 朱美

委員長 倉本 喜博

委員長 椋木 博



おめでとうございます

- 知事賞 2**
一の宮小 勝山中
- 教育長賞 11**
桜木小 良城小 牟礼小 華浦小
田小 大田小 福川小 周陽中
南中 萩東中 福栄中 鴻右
- 会長賞 22**
平和小 浅江小 井小 遠石小
平和小 興進小 小鮎小 松崎小
華城小 宇川小 勝山小 椿東小
三見小 浅田小 下松中 川西中 平
川中 桑山中 華陽中 玄洋中 山の
田中 依山中
- 企画賞**
右田小 周陽中
- 写真賞**
華城小 川西中
- レイアウト賞**
福川小 福栄中
- 審査日**
平成17年1月12日 水 於：山口県教育会館
- 表彰式**
平成17年2月4日 金 於：山口県教育会館
- 応募数**
182点(小学校126校 中学校56校)

総評 全体としてはレベルアップ

審査委員長 産本 力

正直に言って、今年度はこじんまりまとまった広報紙が多かったように感じます。昨年度は「よくこんなに多くの号を出したものだ」「このアンケートは面白い。新聞記事にしてもいいくらいだ」など、思わずコピーしたくなるような企画が幾つもありました。

今年度はそういった審査委員を楽しませるものは減りましたが、逆に「これはどうなっているのだろう」と首をかしげたくくなるような広報紙はほとんどありませんでした。要は全体としてレベルは確実にアップ、バランスのとれた広報紙が増えたということだと思います。

気になったのは、まだ一部に、学校の行事紹介に偏り、学校新聞、学校便りのような内容に終始している広報紙があることです。PTA活動は言うまでもなく、保護者(家庭)、教職員(学校)、さらに地域が力を合わせ、子どもを主人公に、子どもたちの未来を切り開いていくのが目的で、そのためには広報紙も幅広い目配りが必要です。PTAとして考えるべきテーマについては特集やアンケートなど工夫し、どんどん取り上げましょう。

写真の使い方もまだまだこなれていないケースが目立ちます。写真はビジュアルな紙面作りには欠かせないものですし、時には記事以上に訴える力があります。しかし使い方を間違えると中身のない薄い広報紙になってしまいます。1ページに20枚以上の写真を使い、まったく記事のないものや、カラー写真をどぎつい色のついた背景に置き、品がなく見る気がなくなるものもありました。

学力の問題、教育制度改革など教育を巡る環境は目まぐるしく変わっており、広報紙の役割はますます重要になってきています。今後も、部員の話し合いを大切に、魅力ある広報紙作りに邁進されるよう期待しています。

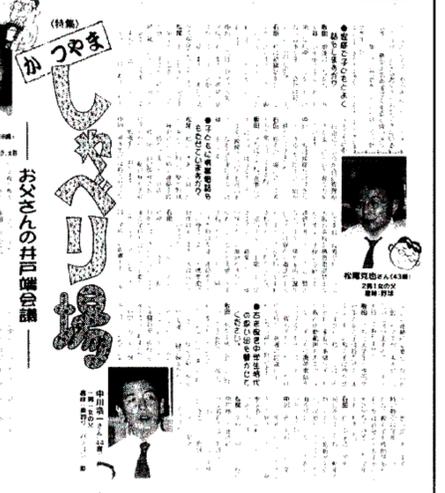
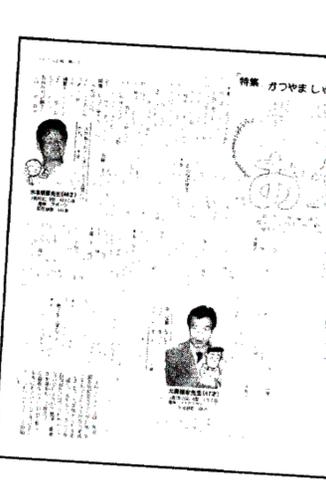
第30回 広報紙コンクール

この度、広報紙コンクールは記念すべき30回を迎えることとなりました。広報紙作成において、各単Pの委員の皆様方には惜しめない努力と情熱を注いでいただき、心よりお礼申し上げます。今回は、応募総数182点の中から慎重な審査の結果、次のおり入選が決まりました。「おやごころ86号」では、知事賞を受賞された2校の広報紙をご紹介します。

かつやま 下関市立勝山中学校

読ませる「父親」特集

まず表紙に引き込まれました。右半分には生徒のイラスト、左半分には保護者のエッセー。その対比がユニーク。特集「勝山しゃべり場「お父さんの井戸端会議」「先生だってお父さん」、さらにお父さんへのアンケートと、年間を通じお父さんにこだわり、問題を掘り下げた点が評価されました。このほか、携帯電話、制服など、子ども、親共に関心の高いテーマについてのアンケートも読ませます。全体として情報量はたっぷりですが、グラフやカット、罫線など上手に使い、とても読みやすく編集されています。



いちのみや 下関市立一の宮小学校

バランスとれた内容
「あなたにあえてよかった」「親の心」などの特集は、同小PTAの今年度のスローガン(ふれあい、たすけあい、まなびあい)にぴったりの内容で、ほのぼのとした好企画。「少人数指導」「ふれあい班」の紹介や、給食室訪問など学校の様子もよく伝わってきます。見出しも工夫されており、適切なイラスト配置と合わせ、思わず読んでみたくなる仕掛けがいっぱいです。決して目立つ作りではありませんが、内容はバランスがとれ、PTA機関誌の役割をきちんと果たしています。